

さよならアルビン君

昨年八月から本校に留学していたアルビン・カネサン・ラットウーナ君が、インドに帰国した。最後の登校日となった1月30日に、アルビン君にインタビューを行った。

● 日本での高校生活はどうでしたか？

剣道部の友達とは本当に仲良くなれた。1年2組のクラスメイトには、日本の文化や風習をたくさん教えてもらい、とても嬉しかった。また、生徒が先生や先輩に頻りに挨拶する

のはインドではあまり見られないので、驚きました。授業は解りましたか？

英語はパーフェクト(笑)。数学や物理も大体インドの



▲ 日本では書道にもチャレンジ

高校と同じレベルなので、専門用語が聞き取りにくかったけど、部分的には理解できました。

● 日本での一番の思い出は何ですか？
スキー合宿が楽しかった！雪合戦や雪だるま作りもとても面白かったです。フェイスブックに掲載して、インドの友達にも自慢しました。逆に東京デイズニラ

● 冬は寒かったですか？
思っていたよりも寒いと感じませんでした。また寒いところから暖かい部屋に入って、こたつやストーブにあたるのは、インドではできない気持ちいい経験でした。

● 日本で美味しかったものは？
最後に東高生にメッセージをお願いします。

● 最後の東高生にメッセージをお願いします。

この半年間は、僕の人生で最高の思い出になりました。インドに帰っても日本での思い出は絶対に忘れません。本当にありがとうございました。

一年生 大山 & 首都圏へ

1年生は1月23～25日、大山でスキースノボ研修(教養クラス)、東京をはじめとする首都圏研修(2組・文学部クラス)に参加した。

「行きたくないな」スキーで骨折の経験のある女子は、今回スノボ体験を前にこんな気持ちだった。だが友達の励ましで滑れるようになった。

文武両道の意味を知る

そのころ2組は初日、東大で副学長の小島憲道先生のお話を聞く。それは普段よく耳にする「文武両道」について、勉強にも部活動にもただ頑張るだけでなく、両立するというバランスの大切さを実感。小島先生自身の、悩みを乗り越えた体験談を交えて話していただいた。分かったつもりでいたことも、新鮮な言葉に感じた。

東京は記録的な大雪

2日目、文系・理系に分かれた2組。文系は東京地方裁判所で、今年は本物の刑事裁判を傍聴した。テレビのニュースのイラストで再現されるものしか見たことがなく、本物ははじめて、薬物取締法違反の裁判の法



▲ スキーもスノボも見ると上達

る。題名は「大山で仲間の大切さを知る」。もっとも大切なもの、それは仲間です。流行語にもなった「もっとる」斎藤佑樹の記者会見みたく、「小学生のころ何度かスキーをしたことがあり、その経験から上級者コースに入った。当然、上級者コースの皆は上手で、遅れを取りがちなどころ、仲間が自分にあわせてくれたので、中級者コースに行くこともなく、3日間仲間に溶け込むことができた。学校は勉強だけではない、とよく言いますが、そうした勉強も含めた大きな可能性を見つけた。スキーでは、滑ること、止まること、ターンがでずに転んでも次の目標、その次の目標を明確にし、その目標を少しずつ上げていく。大山でも首都圏でも、いろいろな発見から目標を明確にして、挑戦すること、また仲間と行動することで絆を深め、その絆に支えられていることを知る。未来に向けての希望を、お土産に持ち帰ることができたようだ。



▲ 東京大学をバックに記念写真

後期生徒会長 石川鉄平さん(2-2)

話題の人 第14回



今回は後期生徒会長として頑張っておられる2-2の石川鉄平さんにお話を伺った。石川さんは硬式テニス部に所属しており、部活と勉強の両立に頑張りがちな生徒会長としての活動に日々励んでおられる。

まず、生徒会長になったきっかけを伺うと「中学校でも生徒会長をしていて、そのときの生徒会活動が強く印象に残っており、自分がその活動を通して成長することが出来たから」とのこと。後期生徒会長の仕事は、初めは生徒会活動をするにあたっての引き継ぎが無かったため情報が少なく、『松柏』を手探りで作成しながら、勉強との両立に苦労したそうだ。そして現在石川さんは、掃除への取り組みに対する意識改革を考えておられる。後期生徒会長として東高のこれからを担っていく石川さんは生徒や先生の掃除に対する意識がまず問題点だと感じ、放送部などと連携を図り、BGMを流すことで、生徒や先生が掃除に意識を向けられるよう工夫をしていくそうだ。残りの任期は少ないけど、今後はこの活動に力を注いでいきたいと真剣な表情で話しておられた。

そんな石川さんの趣味はスノーボードと音楽を聴くことだそうだ。スノボは小学校からやっており、今ではマイスノボを持っているほど熱中している。また好きなアーティストは「RADWIMPS」、「ASIAN KUNG-FU GENERATION」、「BUMP OF CHICKEN」、「aiko」などで、カラオケではシドの『嘘』が十八番だそうだ。

最後に将来の夢を伺うと「物理の高校教師になって、ゆくゆくは東高で働きたい。そして、子供に勉強を教えてあげたい(笑)」と少し照れながらも楽しそうに話しておられた。